

【対応レベル欄選択肢】

◎:標準実装による対応

○:カスタマイズ等で対応可能な場合(経費の加算が不要)

△:代替運用により実現する場合(内容欄に必要費用を記載し、見積書にも算入してください。)

×:対応不可

大分類	小分類	No.	機能要件	対応レベル	補足説明(対応レベル欄で○△を選択した場合にその内容をご記入ください。)
CMS(コンテンツ・マネジメント・システム)要件					
システム全般	システム全般	1	システムは庁外のデータセンターに設置されたものを利用すること。運用に必要な環境を受託者が全て用意すること。		
		2	本市の職員端末環境において、主要なウェブブラウザの最新安定版で利用できること。		
		3	作成、承認、公開その他管理に関する作業は、原則として職員端末から行えることとし、CMSサーバ又はWEBサーバ上での直接作業を必要としないこと。		
		4	導入するCMSは開発ベンダーによる保守が確立された製品とし、脆弱性が発見された際への対応が迅速に行えること。		
		5	公開サイトは、原則として静的HTMLにより構成される仕組みであること。		
		6	システムを構成するサーバには「TLS/SSLサーバ証明書」を設置すること。なお、契約期間中「TLS/SSLサーバ証明書」の導入及び更新にかかる費用は受託者が責任を持って行うこと。		
		7	有事の際には庁外からセキュリティ対策をした上で更新できること。		
		8	ページ編集時や承認時の各操作など、日常的に行う操作については、業務に支障のない応答性能を有すること。		
		9	サービス提供環境におけるサーバ・ネットワーク機器は冗長化をはかること。		
		10	ユーザライセンスは無制限で提供すること。ユーザ数、ページ数等で費用が変わらないこと。		
		11	システムは、計画停止等を除き、24時間・365日の運用が可能であること。		
		12	文字コードはUTF-8であること。		
		13	公開ページ又はWEBサーバ上のコンテンツ改ざんを検知し、必要に応じて正常な状態へ復旧できること。		
		14	ページ内のコンテンツ部分を、A4縦サイズで内容が損なわれることなく印刷できること。		
		15	各課担当者自らパスワードを変更できる機能を有すること。		
		16	パスワードに有効期間を設定することができ、任意のタイミングでパスワード変更メッセージを自動掲載できること。		
		17	複数回ログインを失敗した場合、アカウントを自動的にロックできること。また管理者はログイン凍結の解除ができること。		
		18	ログイン前およびログイン後のメインメニュー画面の目立つ位置に、管理者からのお知らせを掲載できること。		
		19	テキスト、画像、添付ファイルその他ページを構成する素材をCMS内で管理し、複数ページから再利用できること。		
管理者機能	ユーザ設定	20	端末から、ユーザIDとパスワードによりシステムへのログイン認証が可能であること。		
		21	同じユーザIDで同時ログインできること。		
		22	パスワードは、文字数(8文字以上等)と文字種類(英数字混合等)の入力制限ができること。		
		23	管理者は、CMSの管理画面上でユーザー情報(ユーザID・パスワード・権限設定等)の管理(追加・修正・削除)ができること。登録できるユーザ情報の数は上限がないこと、または十分な数を登録できること。		
		24	システム全体の操作権限を持つ管理者用のIDを設定できること。		
		25	ページ作成を行う作成者用のIDとページ承認を行う承認者用のIDを設定できること。		
		26	CMSに登録されているユーザ情報を、CSV等の形式で出力できること。		
		27	CSV等の形式で作成されたユーザ情報をCMSに取り込めること。		
		28	所属部署ごとに編集可能なページ又はカテゴリを制御できること。原則として他部署が管理するコンテンツは編集できず、管理者は全てのコンテンツを編集できること。		
		29	アカウント権限は、管理者、承認者、作成者等の役割に応じて設定でき、利用できる機能及びメニューを制御できること。		
		30	ユーザごと又は所属ごとに、編集、承認、公開等の操作対象を制御できること。		
	ログ管理	31	ログイン・ログアウトのログを確認できること。		
		32	ユーザID・ユーザー名、管理組織、掲載カテゴリ等から検索・抽出したページ単位での操作更新履歴を確認できること。		
		33	各課の作成者・承認者が、編集・更新するコンテンツの操作履歴を確認できること。		
	組織管理	34	管理者は、CMSの管理画面上で組織機構情報(部署名・電話番号・事務分掌等)の管理(追加・修正・削除)が行えること。登録できる組織情報の数は上限がないこと。		
		35	ページ下部に表示するお問い合わせ先は、各組織毎に複数の署名を作成することができ、各ページを作成する際に選択できること。		
		36	組織機構改編後の組織体系を管理画面から登録予約することができ、指定日に自動で機構改編が実施できること。		
		37	機構改編予約の実行と同時に影響を受ける全てのページの編集権限の移動とページ担当部署の署名の更新も実施できること。		
		38	組織改編その他の理由により管理部署を変更する場合、問い合わせ先表示その他関連情報を一括して更新できること。		
		39	組織機構改変後も、ページへのアクセスURLが変更されないこと。		
		40	コンテンツには、各部署の業務内容に合わせた分類を作成でき、設定できること。		
		41	組織改編のときに、その分類を利用して、組織替えに利用できること。		
	緊急情報	42	災害発生等の緊急時に、トップページの目立つ位置に緊急情報欄を表示できること。		
		43	緊急情報コンテンツは権限を付与された職員のみが通常の承認フローを必要とせずに、トップページに緊急情報を掲載できること。		
		44	平時にはトップページに緊急情報欄は表示させず、発報された際に指定個所に自動で表示させることができること。		
		45	緊急情報発報時には、予め設定した関係者宛にメール等で通知できること。		

【対応レベル欄選択肢】

◎:標準実装による対応

○:カスタマイズ等で対応可能な場合(経費の加算が不要)

△:代替運用により実現する場合(内容欄に必要費用を記載し、見積書にも算入してください。)

×:対応不可

大分類	小分類	No.	機能要件	対応レベル	補足説明(対応レベル欄で○△を選択した場合にその内容をご記入ください。)
		46	大規模災害等発生時には、画像やアイコン等のビジュアルを廃したテキストベースのトップページに、迅速に切替可能なこと。		
ワークフロー	承認ルート	47	作成者は、ページ作成のみで承認は行えないこと。		
		48	組織運用に応じて複数段階の承認経路を設定できること。		
		49	承認者不在時に備え、代理承認その他代替手段を設定できること。		
	作成・編集作業	50	作成途中にコンテンツを一時保存でき、再ログイン後に途中段階から編集が再開できること。		
		51	承認者ユーザーは、公開許可申請を受け付けた「承認待ち」記事一覧にすぐにアクセスできること。		
		52	承認依頼中のページを作成者自らがキャンセルし、内容を再編集できること。(作成者による承認依頼の引き戻しができ、修正等ができること。)		
		53	作成中は、他の利用者が同一のコンテンツを編集できないよう自動ロックすること。		
	承認作業	54	内容確認のため、ページのプレビューが可能であること。(本ページからのリンク先ページも目視確認ができること。)		
		55	管理者は、承認者の承認を必要とせずにページを即時公開できること。		
		56	一定期間承認処理がされないページについて、自動的に催促メールを送信できること。		
		57	管理者は複数のページを一括して承認できること。		
		58	承認者がページ承認時に変更箇所があった場合、変更箇所を視覚的に確認できること。		
公開管理機能	全般	59	CMSログイン後オンラインマニュアルの参照ができること。		
		60	操作権限がないオンラインマニュアルは閲覧できないように制御されること。		
		61	CMSログイン後、一定期間更新のないコンテンツを一覧表示できること。		
		62	CMSログイン後、近日中に公開が終了するコンテンツを一覧表示できること。		
		63	CMSの操作・ページ作成には、ソースの編集を一切必要としないこと。		
		64	任意の日付を指定し、当該日時点の公開状態を確認できること。		
		65	サイトマップを自動生成できること。または編集できること。		
	テンプレート	66	テンプレートからページ作成・更新ができること。		
		67	テンプレートから作成したページでも、画像や表の追加掲載や、掲載位置の変更など、編集が可能なこと。		
		68	課(所属)ごとに利用できるテンプレートを制限できること。		
		69	管理者は、全ての部署で利用できるテンプレートの新規作成・登録ができること。		
	CMS内検索機能	70	管理コンテンツ状態(「作成中」「公開中」「公開終了」等)で検索抽出できること。 他の検索条件と組み合わせで検索抽出できること。		
		71	フリーキーワードにて検索できること。他の検索条件と組み合わせで検索できること。		
		72	検索で抽出されたコンテンツリストをCSV形式等で出力できること。		
		73	ページタイトル、ページIDを検索対象としてキーワード検索できること。他の検索条件と組み合わせで検索できること。		
		74	作成者(課・グループ)で検索ができること。他の検索条件と組み合わせで検索できること。		
		75	各課コンテンツ編集画面では、所属部署(課)で編集権限があるページのみが対象となり、公開前の他部署で作成中のページは検索対象にはならず参照できないこと。(採用情報、施行前の施策等)		
		76	検索結果一覧には「タイトル」「作成者」「状態(作成中・公開・公開終了)」「公開期間」「最終更新日」等が表示されること。		
		77	検索結果より、該当するページを選択してページの編集ができること。		
	コンテンツ作成	78	編集ページ(記事)はPC画面とスマートフォン画面の公開プレビューイメージで編集できること。		
		79	ページの状況(公開中、非公開、承認中、一時保存など)がわかりやすく表示されること。		
		80	ページ作成時に、新着情報への表示、公開日・終了日の設定、カテゴリーへの掲載等の公開に関する各種設定を行うことができること。		
		81	各課担当者はトップページの新着表示の可否を選択できること。		
		82	管理者はトップページに任意の記事を任意の期間表示掲載できること。		
		83	内容確認のため、公開時と同じ状態でページ全体のプレビューが可能であること(本ページからのリンク先(内部リンク・外部リンク共に)ページも目視確認ができること)。		
		84	ページの作成日(更新があった場合は更新日)が自動で表示されること。また、任意の日時に設定できること。		
		85	ページ編集時に必須入力箇所が表示できること。また、必須入力箇所が未入力であった場合は、そのまま公開許可申請処理が行えないこと。		
		86	管理者が設定した注意語句又は禁止語句を入力した際に、警告表示又は修正を促すことができること。		
		87	ページの作成時に誤った入力操作等をした場合、簡易な操作で直前の状態に戻せる機能を備えること。		
		88	Microsoft Word・Excelとの互換性を持ち、テキストや表の掲載時には、コピー＆ペーストが可能であること。また、その際不要なタグ・非推奨タグは削除できる機能を有すること。		
		89	コピー＆ペーストした表であっても、行、列の追加や削除、見出し(列・行)セルの設定、幅の調整などが、HTMLソースを直接編集することなく、簡単な操作で編集できること。		
		90	コンテンツをコピーし、編集するなど、転用が可能であること。		
		91	公開ページ上部に見出しに対応した目次を簡易な操作で作成できること。		

【対応レベル欄選択肢】

◎:標準実装による対応

○:カスタマイズ等で対応可能な場合(経費の加算が不要)

△:代替運用により実現する場合(内容欄に必要費用を記載し、見積書にも算入してください。)

×:対応不可

大分類	小分類	No.	機能要件	対応レベル	補足説明(対応レベル欄で○△を選択した場合にその内容をご記入ください。)
	表	92	ページの本文に枠囲みを作成できること。		
		93	掲載する表の横幅を固定値でも設定できること。		
		94	表については、CMS編集画面からも作成できること。		
		95	表の見出し方向が一括で設定できること。		
		96	表の幅はパーセント指定で設定できること。		
	画像	97	画像を簡単な操作で配置できること。また同一ページ内に掲載数の制限なく複数配置できること。		
		98	CMSにてアップロードされた画像ファイルを任意のサイズにリサイズできること。また、画像の向きを調整できること。		
		99	CMSにてアップロードされた画像ファイルをトリミング処理できること。		
		100	定められたファイルサイズ以上の画像を登録する場合、自動でリサイズされること。		
		101	ファイル名に使用できる文字種を制御できること。		
		102	同一ファイル名でアップロードした際に、上書き登録かファイル名を変更するかの警告を表示し選択できること。		
		103	登録済みの画像及び添付ファイルは、リンク切れを生じさせることなくCMS上で差替え又は上書き更新ができること。		
		104	画像の表示サイズ(見た目の大きさ)をマウス操作により、調整可能なこと。		
		105	画像にリンクを設定できること。		
		106	登録できる画像のファイル種別(JPEG、GIF、PNGのみ等)を制限できること。		
	WEBアクセシビリティ	107	コンテンツの作成・編集時にアクセシビリティチェックができること。		
		108	公開許可申請時に、アクセシビリティチェックにより不適切な入力があり「エラー」が表示された場合、指摘箇所を修正しなければ、公開許可申請処理が行えないこと。		
		109	アクセシビリティチェック結果画面から指摘事項が表示され、理由と修正方法が表示されること。		
		110	WEBアクセシビリティチェックは、チェックボタンのクリック等1回の操作で集約してエラー及び警告一覧が表示されること。		
		111	HTML言語を意識することなく、h1属性(見出し)を付けることができること。また見出し順序のチェックが行われること。		
		112	HTML言語を意識することなく、alt属性(代替テキスト)を付けることができること。		
		113	代替テキスト未入力又は不適切な内容の可能性がある場合は、警告表示その他の方法で作成者に注意喚起できること。		
		114	ルールとして使用できない単語を自動変換する単語辞書と、使用に関して注意喚起する単語辞書を分けて登録できること。		
		115	「No.114」について、運用開始後でも管理者がメンテナンス(追加・変更・削除)できること。		
		116	HTML言語を意識することなく、表の見出しやキャプションを簡単に設定できること。		
		117	表記ルール、禁止文字、機種依存文字その他本市が定める入力ルールについて、警告表示、置換又はチェックができること。		
		118	「No.117」について、運用開始後でも管理者がメンテナンス(追加・変更・削除)できること。		
		119	色覚特性に応じた掲載画像の見え方チェックが可能で、チェックにより不適切の場合は、画像の色遣いの変換が可能なこと。		
		120	画像化された文字を掲載しようとする際に、背景色と文字色のコントラストチェックができること。		
		121	「No.119」及び「No.120」に係るチェック又は確認方法について、運用開始後も必要に応じて見直し又は設定変更ができること。		
		122	日本産業規格「JIS X 8341-3:2016」又はその改正後の規格に基づくウェブアクセシビリティ対応試験について、実施又は実施支援が可能であること。		
		123	ウェブアクセシビリティ対応試験の対象範囲、実施方法、実施時期、役割分担等について、本市と協議の上、必要な支援を行えること。		
		124	ウェブアクセシビリティ対応試験の結果に基づき、課題の整理、改善提案及び必要な修正支援を行えること。		
		125	ウェブアクセシビリティ対応試験結果の公表に必要な資料作成その他の公表支援を行えること。		
	公開設定	126	公開URLは任意に設定できること、又は自動設定される場合でも公開前に確認できること。		
		127	コンテンツの公開・終了期間の設定が、日時単位で可能なこと。		
		128	公開期間を「無期限」とする設定が容易にできること。		
		129	公開期間が終了したHTMLや使用した関連ファイル等は、WEBサーバから自動的に削除されること。		
		130	公開期間が終了したページは、CMSサーバには非公開状態として保存され再利用できること。		
		131	公開終了したコンテンツは、WEBサーバからは削除されてもCMS上には保持され、再利用又は再公開ができること。		
		132	公開及び更新の反映時期を予約設定できること。また、緊急時には速やかに反映できること。		
		133	公開中のコンテンツを修正し、上書きの日時を予約指定する機能があること。 例:2月1日に公開中ページを修正し、修正した内容を3月1日に公開(2月中は元の内容で公開)		
		134	公開されるページは、そのページの管理部署ごとに集約表示できること。		
		135	管理部署ごとに集約表示された記事は、担当業務ごとにジャンル分け公開できること。		
	リンク管理	136	情報量が多いページの編集時に、同一ページ内の「見出し」位置に移動するページ内リンクを簡単に表示できること。(アンカー機能)		
		137	外部リンクは、「(外部リンク)」などの文言もしくはアイコンが自動的に設定されること。		

【対応レベル欄選択肢】

◎:標準実装による対応

○:カスタマイズ等で対応可能な場合(経費の加算が不要)

△:代替運用により実現する場合(内容欄に必要費用を記載し、見積書にも算入してください。)

×:対応不可

大分類	小分類	No.	機能要件	対応レベル	補足説明(対応レベル欄で○△を選択した場合にその内容をご記入ください。)
		138	CMS内で作成中・承認中のページにリンクを貼ることができること。		
		139	CMSに登録されている全ページに対してリンクチェックが実行でき、記事のどのリンクがリンク切れを起こしているか公開イメージから確認できること。		
		140	公開中コンテンツに含まれる外部リンクについて、定期的にリンク切れを確認し、管理者に通知できること。		
		141	リンクのテキストに適切ではない可能性のあるテキスト(「ここをクリック」など)が含まれている場合承認依頼を送れないこと。		
		142	公開が終了したページに対して他のページからリンクされている場合、公開が終了した時点で自動的にリンク設定が削除されること。(閲覧者がクリックしてリンク先がない状態が発生しないこと)		
	ファイル管理	143	作成したページのQRコードがダウンロードできること。		
		144	添付ファイルを掲載する際は、ファイルの種類(アイコンと名称)とファイル容量が自動的に表示されること。(例:掲載文の文頭にはアイコンが表示され、文末にはファイル名と容量が自動的に表示されること。)		
		145	ページにPDF等の各種ファイル(Microsoft Word・Excel、PDFは必須)が添付できること。		
		146	ページに添付できるファイルの種類・容量を制限できること。また、添付ファイルの種類・容量が制限の範囲外である場合はアップロードできないこと。		
		147	添付ファイルをCMSに一括でアップロードできること。		
		148	添付ファイルの閲覧にソフトが必要な場合には、自動的に閲覧方法などが表示されること。PDFをリンクした場合、AdobeReaderのダウンロードを促す案内が自動で挿入されること。		
		149	同名のファイルをアップロードしようとした場合は警告を表示すること。その際、アップロード画面からファイル名称を変更してアップロードできること。ただし、自動でファイル名を付与する場合は警告が表示されなくても可能とすること。		
		150	編集時、添付するファイルをアップロード後に、CMS編集画面上でファイルの中身をプレビューできること。		
	問い合わせメールフォーム	151	各ページに作成担当課(係・グループ)への問い合わせ先署名が自動で掲載できること。		
		152	職員はページの編集時、自動掲載される署名ではない予め登録しておいた署名を選択し掲載できること。		
		153	入力項目に合わせて入力可能な文字以外が入力された場合、エラーとできること。(例:電話番号入力欄は数字のみ入力等)		
		154	各ページ、組織一覧ページに作成担当課(係・グループ)への問い合わせメールフォームが自動で掲載できること。		
		155	問い合わせフォームで、入力エラーがあった場合に、利用者に対してエラー理由をテキストで表示できること。		
		156	問い合わせフォームの利用者が入力内容を送信前に確認できること。		
		157	問合せが正常に実行された際は、正常に完了したことを、正常に実行できなかった際は、警告文を利用者の閲覧画面に表示させること。		
		158	どのページのフォームから問い合わせがあったのか判別できること。		
	アンケートフォーム 申込フォーム	159	任意のページにアンケート又は申込フォームを設置できること。		
		160	チェックボックス、ラジオボタン、リストボックス、テキストボックス等を設定できること。		
		161	入力フォームで必須項目の指定や入力文字数の制限が行えること。		
		162	アンケート結果を集計する機能があり集計された結果をCSV形式等で保存、出力できること。		
		163	アンケートは指定した公開日、削除日に自動的に公開・削除できること。		
		164	画像やファイルを添付した投稿を受け付けできること。		
		165	個人情報を取り扱う機能については、ユーザIDごとに情報閲覧・操作ができるよう権限の制限が可能であること。		
		166	アンケート結果等のダウンロードは、安全性を確保した方法により行えること。		
	地図機能	167	外部API(GoogleMapsなど)を利用した地図機能を、住所の入力、緯度・経度情報の入力等HTMLソースを修正することなく容易な作業で表示・利用できること。		
		168	外部API(GoogleMapsなど)を利用した地図機能を活用するうえで別途経費が必要となる場合は、CMSの利用料に含めること。		
		169	地図に複数のポイントを設定できること。		
	RSS配信	170	必要なページ群についてRSS配信に対応できること。		
		171	カテゴリごとの新着情報をRSSフォーマットで出力できること。		
	ソーシャルメディア 連携	172	ページのHTMLソースを直接編集することなく、ページ内にYouTubeの動画を掲載できること。		
		173	各ページに、外部APIサービスから得られる情報を簡単に埋め込み表示できること。(例:Xウィジェット等)		
		174	SNS連携機能を実装する場合、主要なSNSサービスに対応できること。		
	スマートフォン・ タブレット等	175	レスポンス性WEBデザイン等により閲覧者の端末画面の解像度に合わせて最適化され表示できること。		
サブサイトの管理	サブサイトの管理	176	メインのホームページのほかにデザインが異なるサブサイトを作成できること。(例:市議会ページなど)		
		177	階層構造、メニュー構造、デザイン、パンくずリストの異なる複数のサイトを管理できること。		
		178	異なるサイト間においては管理者や運用フローを分けて設定できること。		
		179	同一CMS内であれば、異なるサイト間であっても外部リンク扱いではなく、内部リンク扱いとして設定できること。		
		180	同一CMSで複数サイトを管理でき、必要に応じてサイト又はカテゴリ単位で公開先設定を行えること。		
公開ホームページ	閲覧環境	181	サポート期間内で標準的なブラウザ(Safari、Google Chrome、Firefox、Edge)で支障なく閲覧できること。		
		182	すべてのページをTLS/SSL通信により表示できること。		

【対応レベル欄選択肢】

◎:標準実装による対応

○:カスタマイズ等で対応可能な場合(経費の加算が不要)

△:代替運用により実現する場合(内容欄に必要費用を記載し、見積書にも算入してください。)

×:対応不可

大分類	小分類	No.	機能要件	対応レベル	補足説明(対応レベル欄で○△を選択した場合にその内容をご記入ください。)
	FAQ機能	183	FAQコンテンツを作成、分類及び管理できること。また、利用者向けに一覧表示や分類表示ができること。		
		184	管理者及び作成者によって、FAQの項目(質問、回答及びそのカテゴリ)の追加や更新、削除ができること。		
		185	よくある質問には、関連ページへのリンクや問い合わせ先を容易に設定できること。		
	バナー広告	186	掲載する広告バナーは、表示順を変更できること。		
		187	バナー広告の画像は、JPEG、GIF等が使用できること。		
		188	管理者IDでのみ、またはWEBサーバに設置する管理用IDでのみバナー広告を追加、修正、削除できること。		
		189	広告バナー画像、URL、掲載期間、掲載場所を個別に指定できること。また掲載期間は登録することにより、自動的に掲載開始、掲載終了できること。		
		190	掲載した広告バナーのクリック数を集計する機能があること。集計された結果をCSV形式等で保存・出力できること。		
		191	分類ページそれぞれに、共通でない独自の広告バナーがつけられること。		
	アクセス集計	192	アクセスログが取得可能であること。		
		193	集計結果を数値およびグラフで表示できること。		
		194	部署単位その他必要な単位でアクセス状況を集計又は分析できること。		
		195	ページビュー数、セッション数その他アクセス状況を把握するための分析機能を有し、必要に応じて集計結果を出力できること。		
		196	CSVファイル等で出力可能であること。		
	WEBアクセシビリティ対応	197	閲覧者がキーボード操作のみでサイトを利用できること。		
		198	閲覧者の利用環境に応じて、文字拡大等の支援機能が利用しやすいこと。		
	閲覧支援	199	ページ内のテキスト情報を複数言語に機械翻訳して表示できること。対応言語は英語、韓国語、中国語(簡体字)及びポルトガル語を基本とし、表示方法の詳細は提案によること。		
		200	リニューアル後のサイトで表示される文字は、(株)モリサワが提供するTypeSquareで配信されるUDフォントを採用すること。		
		201	ページ内のテキスト情報を、やさしい日本語(平易な日本語)に自動で変換される機能を有すること。		
	ページ表示	202	トップページの目立つ位置に画像等を複数掲載したスライドショーが表示できること。また画像は、職員が簡単に変更でき、差し替えについて表示期間の予約ができること。		
		203	カテゴリの名称変更等があったときは、それに紐づくコンテンツ及びパンくずリストも同時に変更すること。		
		204	閲覧コンテンツの同じカテゴリ・階層内にあるコンテンツへのリンクを表示するローカルナビゲーションを自動的に生成できること。		
		205	各階層のカテゴリ(目次)ページに「新着情報」や「おすすめ情報」等を集約表示できること。		
		206	新着情報など一覧ページに表示させるサムネイル画像を登録できること。		
		207	トップページを除く全ページにパンくずリストを自動表示できること。		
		208	404その他必要なエラーページを作成でき、利用者がトップページ等へ遷移しやすい案内を表示できること。		
		209	トップページを除く全ページの上部に表示されるパンくずリスト以外に、ページ下部に別ルート表示と実際の閲覧経路履歴(あしあと)を自動表示できること。		
サイト内検索	サイト内検索	210	各ページの見やすい位置にサイト内キーワード検索機能を表示できること。		
		211	サイト内の全文検索機能を有すること。		
		212	定期的にサイト内のクロールを実施し、最新情報が検索対象となること。		
		213	ページID検索機能を有すること。		
		214	広告の出ないサイト内検索を提供できること。		

【対応レベル欄選択肢】

◎:標準実装による対応

○:カスタマイズ等で対応可能な場合(経費の加算が不要)

△:代替運用により実現する場合(内容欄に必要費用を記載し、見積書にも算入してください。)

×:対応不可

大分類	小分類	No.	機能要件	対応レベル	補足説明(対応レベル欄で○△を選択した場合にその内容をご記入ください。)
データセンター要件					
セキュリティ要件		1	情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の認定を取得したデータセンターであること。		
		2	個人情報マネジメントシステム（プライバシーマーク）の認証を受けていること。		
		3	品質保証制度（SLA）を設けていること。		
立地条件その他リスク (災害・火災等の対策)		4	データセンターの立地場所は日本国内であること。		
		5	免震対策等震度6強の地震に対して建物機能に重大な損傷を与えない堅牢な建築物であること。		
		6	火災・水害・落雷等の影響を受けにくくする設備を備えていること。		
		7	機器や記録媒体に影響を与えない消火薬剤や消防用設備等を備えていること。		
		8	火災および火災予兆を検知する高感度煙感知器や熱感知器、炎感知器等を有すること。		
		9	非常放送設備、防火防排煙設備、各種消火設備が連動していること。		
		10	消火設備の集中監視が可能であること。		
サーバ室及びデータ保管室でのセキュリティ		11	サーバラックは施設管理すること。		
		12	他契約と適切に分離された管理が行われていること。		
		13	ICカード等によりデータセンターでの入退室を制限するとともに、入退室管理が行われていること。		
		14	24時間365日全ての入退室管理が記録され、一定期間保管可能であること。		
		15	モニタによる監視が、24時間365日で行われていること。		
		16	監視カメラの映像が一定期間保管されていること。		
		17	ファイアウォール等により不正侵入やコンテンツ改ざん等の不正アクセス防止に努め、常に万全のセキュリティ対策を施すこと。		
		18	共連れ防止設備や金属探知器等の適切な防犯対策が講じられていること。		
電気設備		19	電力供給は異なる変電所から2系統以上で受電していること。		
		20	無停電電源装置を設置していること。		
		21	自家発電設備が起動し安定した電力の供給ができるまでの間、無停電電源装置等による安定した電源供給をできること。		
		22	無停電電源装置はn+1冗長構成以上の構成であること。		
		23	停電時にシステムを運用するために十分な電源容量を持つ非常用自家発電機器を備え、停電時には自動切換えができること。		
		24	自家発電装置の燃料容量は24時間以上継続運転が可能な保有量であること。		
		25	無給油で継続運転が可能な時間が経過した後も、優先的に燃料供給が受けられる状況であること。		
空調設備		26	空調は24 時間365 日の連続運転が可能なこと。		
		27	空調設備の集中監視が可能であること。		
		28	故障による代替空調や、停電時における空調設備の電源確保が可能であること。		
通信設備		29	通信回線は冗長性を確保した構成とし、障害時にも継続運用に支障が生じにくいこと。		
		30	通信回線は、本業務の運用に支障のない十分な帯域を有すること。		